

平成26年度 市政報告会

市政報告会でのご意見・ご質問の一部（要旨）をお伝えします。

第9回目の開催となる市政報告会を10月17日の波野地区を皮切りに市内11会場で行いました。後半は質疑応答の時間で、本年もたくさんのご意見・ご質問をいただきましたので一部（要旨）をご紹介します。

問 ことし2月の大雪は、波野地域は特にひどく、雪除け作業の業者対応では1週間以上家から出られない状態であった。区長や地域のボランティアによって雪除けができた現状。今後起こると思う。事前に災害ボランティアの登録を行えば、区長などの判断で早急な対応ができるのではないか。

答（総務部長）

昨年度の大雪では区長や地域の方々にご協力をお願いし、除雪作業車輛の燃料代を市で負担させていただきました。災害ボランティア組織については議会でも質問があつており、作業中のケガへの対応などを考えながら検討している。

問 波野は消防団員のほとんどが地域外に勤めており、昼間の火災に実際に出勤できるのは1〜2人程度。他の過疎地域ではOB団員が活動しているところもある。そういう組織づくりをお願いしたい。

答（総務部長）

消防団員不足は市全域で同じ傾向にあり、加入促進ほか各区には自主防災組織を強化していただくようお願いしている。OB団員制度についても検討している。

問 波野地区の農林業を近代化するために市役所・農協・森林組合が一体となった施設が必要。住民への指導から取り入れた1カ所集中型の施設を作っていたきたい。

答（経済部長）

農林業振興については、全国的に大きな問題となつており、特に林業関係は、木材価格の低迷が続く中で、市町村独自の振興策は難しい状況にある。現状では、間伐の推進



ことし2月に降った大雪。
(市役所の公用車に積もった雪)

や施業の低コスト化などを進めていきたい。今回提案いただいた事業所の一体化については、波野地区の振興策などもっと明確化した時点で考えたい。

問 赤仁田地区は県境のため、イノシシが大分県に逃げ込んだ場合、それ以上駆除員が入れず駆除できない。大分県内でも駆除できるよう許可してほしい。イノシシはほとんどが大分県に逃げ込んで、次の日はまた出てきて荒らしているのが現状。

答（経済部長）

他町村の猟友会と協議し、産山村、南阿蘇村に逃げ込んだ場合の捕獲が実施可能となるような体制づくりを進めて

いる。その他隣接町村についても、捕獲範囲の拡大協議を進めているが、大分県については、許可権限の範囲が大きく変わるので、協議を行う必要がある。

問 鷲の石公民館をかさ上げし、避難所として利用できるようお願いしたい。

答（総務部長）

黒川激特事業による宅地かさ上げは、住家が対象であり、公民館は対象になっていない。市からも公民館についてはかさ上げしてほしいと県にお願いしたが制度上できないとのことであった。現在、地域の公民館は地域での整備・管理であり、市による対応は難しい。新たな避難所建設もすぐには難しいので、遠くなら大雨の予報の際には安全を第一に、山田小学校や隣接地域の公民館に避難していただきたい。

問 激特事業で建設される遊水地の堤防の管理を、県にお願いしているが、具体的な返事が無い。外来種の2〜3坪になるような雑草が黒川沿いには多々見られる。そのような



狩尾幹線道路頂上付近からの眺望。近年、ライダーなどの間で口コミで知られるようになり、休日などは多くの車両が通行するようになった。

にならないよう、管理関係の申し入れを市から県に対し行ってほしいし、予算も確保してほしい。

答（土木部長）

管理の問題は、将来にわたるもので人手不足、環境面、普段の利活用など、総合的に県と交渉する。地元が行うようになった場合、管理料も交渉していく。

問 旧乙姫小学校について、校舎を解体して企業の誘致をお願いしたい。休止中の養護老人ホーム上寿園は民設民営との話を聞く。乙姫であれば水害もなく景観もよくJRも通り住む環境は最高だと思つ。

答（教育課長）

養護老人ホーム用地はまだ検討段階で未定である。校舎は耐震性がなく解体予定で、解体後の跡地利用については、公有地活用に伴う庁内検討会で協議中である。

問 太陽光発電ができていますが、ジオパークや世界文化遺産登録を進める上で、山からピカピカ光るのはどうかと思う。また、耕作放棄地についての市の対策はどうなっているか。

答（経済部長）

農振地域以外の農地については、太陽光発電設備の設置が規制などの関係から比較的しやすく、市として把握できていない。耕作放棄地対策は、農業委員会やパトロールや幹旋仲介などを行っており、市として耕作放棄地が出ないように努めている。

問 近年、狩尾幹線は「天空の道」として、車やバイクの通行が非常に多くなった。夜明け前から上からも下からもひっきりなしで、牧野へ行く住民の方が危険を感じている。安全運転対策や道路拡張の計画を進めてもらいたい。

答（土木部長）

地域の方々が安全に生活できるよう、スピードを出さない工夫など地元・警察とも協議しながら進めていく。町村合併後、県道から長寿ヶ丘公苑までの拡幅整備を計画的に進めていたが、一昨年の災害後、休止状態になっている。長寿ヶ丘公苑から頂上にかけて幾度となく法面崩壊や落石が発生しており、たまたま事故にはなっていないが、安全対策が急務であり早期改修を実施したいと考えている。

問 激特事業の連絡協議会があるが、土地改良区とか農業委員とか直接関係する団体ももう少し入ったほうがいいのではないか？

答（総務部長）

連絡協議会については、今

年の3月で一度解散しているが、激特事業の進捗状況や激特事業後の川づくりがどうかなのか検討する組織が必要とすることで、市長が県に要望し「黒川激特事業及び川づくりに係る連絡協議会」が新たに設置された。前回の協議会でメンバーを追加して、代表区長の増員、市議会議員、及び九州電力、土地改良区といった利水関係者も加わっている。

問 旧阿蘇北中校区の小学校統合が先延ばしになっている。阿蘇市学校規模適正化基本計画に基づき進められていたが北中校区の小学校統合だけ見えない。

答（教育課長）

統合小学校の取り組みについては、教育施設整備基金を積立てながら学校整備を行っている。文科省の補助金も実質3分の1しか出ない。基金については一宮統合小学校で使い切る状況である。1年に2、3億円基金を積立てても財源確保にはしばらく時間がかかる。ご理解いただきたい。

複式学級が尾ヶ石東部小・山田小学校では増加の傾向にある。複式学級では、授業時間が半分になったり、学校配置の先生の減少や好きな部活動ができないなどの課題も出てくる。保護者の方々の意見がまとまれば、先行統合についても検討をしていきたい。

答（教育長）

小・中学校の部活動の方向性について、現在、県の教育委員会が協議会などを設置し、検討が行われている。指導者や場所の確保が課題であり、一気に全部を社会体育に移行することは難しいが、阿蘇市には「火の山スポーツクラブ」があるので、特に小規模校でクラブ活動が出来ない児童生徒を集め、指導者の確保が可能になれば、できるところから移行できないか検討している。



問 下西黒川区から国道57号への出口は、スクールバスの乗降場所となっており、朝車の通行量が多いため、児童生徒が横断しづらく事故の危険性があるため信号機または押しボタンの信号機の設置をお願いしたい。

答 (総務部長)

信号機の設置は公安委員会(警察署)の管轄になるので、市での対応はできない。ご意見内容を阿蘇警察署に要望し、結果を報告させていただきます。

問 中央病院跡地利用の今後の計画は。

答 (総務部長)

現在、公有地活用に伴う庁内検討会で、遊休市有地全体の活用方法を協議している。地域の意見もお聞きしながらあらゆる方面から考えていきたい。

問 阿蘇医療センターの、診察の待ち時間が全般的に長い。また、専門医師の確保についての見通しはどうなっているか。

答 (阿蘇医療センター事務部長)

診察の待ち時間が長かったことについて、大変申し訳なく思っている。早速、病院全体で改善に取り組み、予約センターの設置や医師の電子カルテ入力補助者の雇用などの対策により、現在では、大幅に短縮しているが、今後もさらに待ち時間が短くなるよう取り組んでいく。常勤医師の確保については、熊大病院をはじめ各方面に働きかけをしている。現在、多数の医師が病院見学をされており、更に詳しく内容を聞きたいという医師も数名いる。

問 御嶽山の火山噴火により

多数の犠牲者が出たが、本市においても住民の防災意識を更に高めるため防災マップの配布と配布時公民館などで専門員による説明をお願いしたい。

答 (総務部長)

防災マップは、平成22年4月に全戸に配布している。その中で噴石・火砕流・火山灰の到達予測範囲を示している。また、阿蘇市ホームページにも同様に掲載しているのをご確認いただきたい。専門員による説明については、気象台にお問い合わせいただきたい。

問 阿蘇駅前から内牧温泉へのバス路線で、現在、内牧支所付近で回って街中に行く路線について、ホテル角方からスーパーみやはら前へ回り、みやはら付近にバス停を新設して、その後内牧支所前を回る路線に変更できないか。高齢者の利便を図ってほしい。

答 (総務部長)

乗降場所及び転回場所の確保、JRなどの公共交通機関との乗り継ぎへの影響など

の問題が考えられることから、市全体的な路線経路及び運行形態について検証する必要がある。

問 高校進学が熊本市内集中型になっており、阿蘇市の中学生も多くが市外に進学している。指導力のある教師を集中させるなど対策がとれないか。

答 (教育長)

過去8年間の進学者数を見ると、阿蘇市外への進学率は36%、58%で推移している。人事異動は県教育委員会に権限があり指導力のある教師の配置を要望していくが、研修や電子黒板の導入などで教師の指導力の向上を図っている。本市においては高校進学までの小中学校9年間で学力を十分につけ多くの生徒が地元高校から希望大学などに進学できるように努める。

問 乗合タクシーについてどうしても使い勝手が悪い。乗り降り場所が決まっているので不便。時間が決まっているのも不便。もう少し使い勝手が良いならないか？また、路

答 (総務部長)

線バス廃止該当地域以外、たとえば乙姫のペンション付近の方とか他の地域でも使えるよう変更が可能であるか？

答 (総務部長)

乗合タクシーはバスの赤字路線廃止の代替措置としての制度であり、基本的に、バス廃止路線地域しか運行できないが、高齢化の観点からも検討すべき課題と認識している。公共交通機関の代替措置の意味合いがあるので、タクシーのように好きな所で乗って好きな所で降りるようにはできないが、運行については毎年検討している。

問 旧中通小学校の利活用について、検討委員会を立ち上げて下ろしていくということだが全然話が出てない。どういった利活用の方法を考えているのか。

答 (教育部長)

現在、校舎は災害時の緊急備品や備蓄品、教育委員会関係の資料保管に使用している。今後は、地域の方々のご意見をいただきながら、公有地活用に伴う庁内検討会の中

で十分審議を行っていく。体育館、運動場は現状のまま利用する方向で検討していきたい。

問 世界農業遺産の認定に続き、世界ジオパークの認定を受けたことは大変良いこと。今後、地域住民ができること、子どもたちができることを明確にし、市民を挙げて立派な阿蘇ジオパークを創り上げてはどうか。

答 (経済部長)

昨年5月に世界農業遺産、ことし9月には世界ジオパークの認定を受け、2つの世界ブランドをとった。だからといってすぐに観光客は増えてこない。まずは受け皿づくりが必要で、世界に匹敵するようないい農産物などを生産して、来られたお客さんに自信を持って提供できるようにすることが大事。このことはあらゆる産業にも同様で、世界に認められる何かを皆様の力で生み出していただきたい。知名度がアップした「阿蘇」のネームを大いに活用してほしい。まずはそういった受け皿づくりを進め、ブランド

価値を高める必要があると思う。

問 阿蘇市の医療費は熊本県平均より高いが原因と対策は。

答 (市民部長)

阿蘇市の一人あたりの医療費は県平均を上回っています。高額な医療費の大部分を占めているものには悪性新生物(がん)、虚血性心疾患(心筋梗塞など)の心臓病、脳血管疾患(クモ膜下出血・脳出



8月23日、世界ジオパーク発表時のようす。(阿蘇火山博物館)

血・脳梗塞)や腎臓疾患などがあげられる。阿蘇市は、県下でも糖尿病の可能性や糖尿病による合併症の危険性が高い方の割合が最も高い。糖尿病による腎臓疾患で人工透析患者が多くなっていることも、阿蘇市の医療費を押し上げている要因の一つである。生活習慣病からもこういった疾病になっていく。市でも健診や個別指導等各種対策を講じ進めている。生活習慣病は普段の生活習慣を改善することによって疾病の予防や早期

の発見・治療による健康回復を図ることも可能である。市民の皆さま一人一人が注意し、重症化を防ぐことで医療費の上昇を抑制できる。

問 車イスの方がJRを利用される場合、市内にある8駅のうち阿蘇駅と市ノ川駅以外の6駅はバリアフリーになってないため、ホームと駅舎をご自分で通行することができない。JRに話したが改善されない。市からも要望していただきたい。世界ジオパークにも登録され、観光地として大事なこと。

答 (佐藤市長)

JRと協議を進める。特に宮地駅前をもっと整備が必要と思っている。宮地駅には広い空間があるので、これから空間を活用する方向で協議を進めていく。

問 区長要望書の取り扱いについて途中経過が不明。3カ月が過ぎていて、速やかな回答及び対応をお願いする。

答 (総務部長)

遅れている区長要望書の回答については申し訳なく思う。総務課で要望書を受付後、担当課へ引き継ぎ、担当課が現場確認を経て、受付後1カ月以内を目安に回答するよう努めているが、回答できていない部分がある。途中経過報告も含めて対応について検討していきたい。

問 農村公園あびか陸上競技場で補修が必要な箇所がいくつかある。選手のケガにもつながる。公式競技場なら対応を。

答 (教育部長)

修繕できるところは対応していく。大規模改修も必要だが予算面から時間がかかる。

問 JR赤水駅のトイレは水洗式でなく子どもや外国人が怖くて使えないと近くの家に借りに来ている。赤水駅は利用者が増加している。早期改修を。

答 (経済部長)

JRの方にトイレの改修を市からもしっかりお願いする。